

美 人

be a **GOOD** neighbor !

October

2019

vol.

09

みそのびと

変化する美園、
進化する美園。



「美國小学校」の卒校式
全校生徒で歌ふ、最後の校歌

vol.

09

美園人

be a **GOOD** neighbor!

CONTENTS

SPECIAL —進化する美園 特集—

04 美園ではじまる新しい歴史

05 行ってきました！美園のNEWスポット

06 「埼玉スタジアム2002」の見学ツアーに参加してきました！

be a **GOOD** neighbor! —「美園人」の横顔—

08 美園とわたし
～この人に聞きたい、美園との出会い～

INFORMATION —お知らせ—

09 美園人からのお知らせ

QUESTION —「美園人」に聞きました—

10 だから美園が好き。その理由を教えてください。

MISONO VOICE —「美園人」の声—

11 『美園人』地域サポーター通信



「東京オリンピック・パラリンピック」を1年後にひかえた2019年。

日本全体が新しい未来に期待をふくらませるなか、
今、美園でもさまざまな変化が起こっています。

変化と進化。

さらに暮らしやすいまちに向かって、美園は歩みをつづけています。

be a GOOD neighbor!

美園ではじまる新しい歴史

2019年4月は美園にとって新しい歴史のはじまりでした。新しい保育園や小学校が誕生した一方で、美園の成長を支えてきた「美園小学校」が分校。新しい出会いと別れを経て、美園の子どもたちはさらに成長していきます。



エールの交換

つづいては、「美園小学校」の7年の軌跡をたどるムービーの上映。これまでの思い出を振り返りながら、涙を浮かべる先生の姿も。最後は、同校の校歌を作曲された平林龍さんがサプライズ登場し、みんなで歌う最後の校歌を会場一体となって歌いあげました。

学校が変わっても、友情が変わることはありません。一期一会を大切に、これからも美園の子どもたちは大きく前進していきます。

2019.3.26

美園小学校 分校式

「大門小学校」「野田小学校」「新和小学校」から分離独立する形で「美園小学校」が開校したのは、2012年4月1日のこと。「美園小学校」は市内で最も新しい小学校でしたが、「みそのウイングシティ」の開発による人口増加を背景に、新たに「美園北小学校」が新設されることになりました。

「美園北小学校」に通うことになる児童にとって、この分校式は同校で行われる最後の行事です。学長のあいさつとともに分校式はスタート。美園小児童と美園北小児童の代表によるあいさつやカレンダーの贈呈のあと、各学校の応援団による「エールの交換」が行われました。体育館には、子どもたちの大きな声と力強い太鼓のリズムが響きました。



全校生徒で最後の校歌斉唱



佐々木校長先生

2019.4.5

美園北小学校 開校式



開校式のようす



外観

さいたま市では104番目の開校となる「美園北小学校」。開校式が行われるのは、入学式や始業式と同日の4月5日。鍵を引き渡すセレモニーなどもあり、これから新しい歴史を築いていく子どもたちは、希望に胸をふくらませているようでした。



＼行つきました！／

美園のNEWスポット



今年はついに美園地区待望のカフェが誕生！そのほかにも、スイミングスクールやベビー用品専門店など、子育てファミリーにうれしい施設が続々とオープンしています。今回はその一部をご紹介します。



DATA

所在地：さいたま市岩槻区美園東1-5-1

ヴィラロイヤル美園東105

電話番号:048-797-7579

営業時間:10:30～23:00 (L.O.22:00)

定休日:月曜日(祝日は営業、翌日振替休)

The old man's Cafe. 浦和美園店

お店のコンセプトは、「街場に寄り添うカフェ」「そのまちの最良のカフェ」です。「街場に寄り添う」とは普段使いができる価格であること、「最良のカフェ」とは「あそこに行こう」よりも「あそこでいいや」と気軽に選ばれることを意味しています。同店は今後も一歩ずつ歩みを重ね、地域の方のより良い一日に寄り添っていきます。



ス温in美园スイミングスクール

関東を中心に展開するスイミングスクール。美園校では、幼児や学童の教室がメインとなっており、送迎バスも運行しています。さらに、親子でスキンシップを楽しめる親子ベビーコースなどもあります。また、成人会員になれば、平日限定で90分間いつでも何度でもプールが利用できる特典も。施設内には、プール後の採暖室も完備されています。



DATA

所在地：さいたま市岩槻区美園東1-8-5

電話番号:048-791-3150

受付時間:月～金 11:00～19:00、土 9:00～15:30

休館日:日曜日、祝日

「埼玉スタジアム2002」の見学ツアーに参加してきました！

「東京オリンピック・パラリンピック」を1年後にひかえた2019年8月。今回はオリンピックでサッカーの試合会場にもなっている「埼玉スタジアム2002」を取材し、普段選手や関係者しか入ることができない貴重なスポットを案内していただきました。その一部をご紹介します。



今回の参加者は30名ほど。ファミリーでの参加が多く、サッカーファンの子どもたちもわくわくしているようです。まずは、本ツアーの注意点の説明から。飲食のルールや団体行動についての説明をしっかり受け、早速見学ツアースタート！

△ START ! △

① ロッカールーム

\ 床は、“闘争心”を表す赤色！ /



② ウォーミングアップルーム



実際に日本代表選手や浦和レッズの選手たちが使っているというロッカールーム。選手のサイン入りユニフォームやスパイク、選手が置いていったものまでが飾られていました。

選手たちはこの部屋でストレッチをしたり、簡単な運動をしたりと試合に向けて準備をします。見学ツアーでは、実際にサッカーボールを使って遊ぶことも！

3 試合時の入場曲でピッチへ！



この日の見学ツアーでは、実際にスタジアムの音響を使って、日本代表の入場曲とともにピッチへ入場。この見学ツアーでしか体験できないことなので、大人も子どもも大盛りあがり！ツアーによっては、浦和レッズの曲がかかることも！

5 実況放送室



各メディアが試合のようすを全国へ届ける場所。より臨場感を感じられるようにと、なんと窓はついていません！会場に吹く風や観客の歓声を生で感じ、試合をよりリアルに伝えることができるような設計となっています。

4 ピッチ・ベンチ

ピッチの芝生は職人の方が大切に育て、試合に向けて準備しています。その横には試合中の選手が座るベンチが。このベンチには、ヒーター機能がついており、冬の寒い時などには選手を守り、快適に過ごせるようになっています。



6 5階の記者席

埼スタの屋根は
2羽のしらさぎをイメージ



こちらの席は記者用にテーブルがついているのが特徴。このテーブルつきの座席は、一般の人でもチケットを購入できるので、観戦中に軽食をとりたい方はおすすめです。



以上で、約1時間半のツアーが終了。普段は見ることができないスタジアムの裏側をたっぷりと紹介していただきました。今回紹介しきれなかつたところは、ぜひ実際にツアーに参加してチェックしてみてください！

美園とわたし

～この人に聞きたい、美園との出会い～

美園に想いを寄せるみなさんに、まちとの関わりやこれからのことについてお話を伺う企画。第5回は、「美園マ・マルシェ」の主催者で、アート作家の齋藤智子さんの登場です。「美園マ・マルシェ」がはじまった背景や活動への想い、からの展望などについてお話を伺いました。

※美園マ・マルシェ…美園在住のママクリエイターが主催しているイベント。手作りの雑貨や楽しいワークショップなどを開催しています。



Q. 「美園マ・マルシェ」の活動がはじまった経緯を教えてください。
きっかけは、自宅で開いていたドライフラワー教室に、別分野で活躍されている作家さんが来てくださったことです。実は、美園はアート作家さんが多いまち。でもイベントとなると、地区外へ出て活動されている方が多いんです。なので、美園でも活動場所さえ確保できれば、面白いことができるのではないかと思いました。

Q. 活動するにあたって大切にしていることは何ですか。
一番は、やはり“美園で暮らす家族のために、そして美園の子どもたちのために”という想いです。お客様のなかには、自分のお財布からお金を出して商品を買ってくれる子どもたちもいるので、やはり利益だけではなく、この地域のために頑張りたいと思っています。

PROFILE

齋藤 智子さん

埼玉県さいたま市出身。“浦和”とは縁があり、これまで南浦和、北浦和で生活し、現在は美園に居を構える。「美園マ・マルシェ」の代表として企画・運営に携わり、自身も一作家としてものづくりに勤しんでいる。



子どもたちに人気の入浴剤。まるで本物のアイスのようなクオリティー。

2019年7月21日に「ウニクス浦和美園」で行われた「美園マ・マルシェ vol3」のようす。当日は1200人以上の人人が来場！



美園人からのお知らせ

美園では今年もイベントが盛りだくさん。ぜひ積極的に参加してみてはいかがでしょう。

＼さいたま市内初！／

公道での自動運転実証実験が行われました。



9月初旬、浦和美園駅周辺で自動運転バスの公道走行実証実験に参加しました。安全確認など一部操作は運転手が行ったものの、あらかじめ設定した1周4.5kmのルートを時速25kmでスムーズに自動走行。バスの外装には自動走行に寄与するためのセンサーなどが取りつけられていました。美園ならではの「変化」や「挑戦」が体験できた1日でした！

イベントカレンダー

10月

10/12(土) 7フェスタ@SR沿線7駅

11月

＼毎年恒例！／

11/2(土) 浦和美園まつり&花火大会

11/9(土) MISONOフェスタ@美園小



リフォームをお考えの方、注目！

さいたまレジリエンス住宅認証制度を活用しませんか？

モニター募集集中！



- リフォーム後も継続して住まわれる方
- 建物の価値を向上させてから売却されたい方
- 購入した中古住宅の性能を向上させたい方
- 空き家になっている住宅を再生させたい方
- 相続された物件をリフォームして住まわれる方

美園周辺

限定5戸

募集期間：～2019年12月

UDCMi内公式サイト
住宅認証制度詳細ページ

コチラを
チェック
→



モニター参加者の評価認証に係る費用負担はございません！採用者には、5,000円分のQUOカードプレゼント！

募集要件

- 構造:木造住宅 ●種別:戸建 ●建築地:美園地区周辺
- 確認申請日:昭和56年6月以前の建物は耐震補強リフォーム実施が必須
※採用には審査があります。(申込多数の場合は抽選とさせていただきます)

【事務局】一般社団法人美園タウンマネジメント

☎048-812-0301 ☐info@misono-tm.org

【協力】さいたま市

だから美園が好き。その理由を教えてください。

『美園人』第9号にご協力いただいた方々に、美園についての質問にお答えいただきました。

みなさんの「美園愛」あふれる回答に注目です。

Q: 美園についての想い、好きなところを教えてください。



齋藤 智子さん
(p.08参照)

A: 浦和レッズが好きなので、スタジアムが見えるまちに住んでいるというのはやはりうれしいですね。以前からサッカー観戦で何度も来ていたまちなので、昔からよく知っています。だからなのか、美園に来るときすごくほっとするんです。今後は、室内で子どもたちがあそべるようなところができたらいいなと思っています。

A: 美園の第一印象といえば、私にとって「挨拶を気軽にできる地域、挨拶を気軽にしている地域」だったということです。

飲食店(カフェ)の経営をするうえで、挨拶を大切にしたいと日々心にとめておりますので、挨拶を気軽にすること文化があるこのまちを私はすぐに気に入ってしまいました。まだ住んで日も浅いのですが、すでに愛着に近い感情を持っています。今後は、色々な場所に公園がふえてさらに優しく歩けるまちになることを期待しています。



The old man's Cafe
大塚さん(p.05参照)



ス温イム美園
スイミングスクール
渡部信さん(p.05参照)

A: 「2002 FIFAワールドカップ」が開催された「埼玉スタジアム2002」があり、会場周辺だけでなく、「浦和美園」駅周辺にもサッカーを盛りあげるストリートがあり、歩いているだけでもとてもわくわくします。また、大型ショッピングモールなどもあり、多くの方が楽しめるまちになっているというところにも魅力を感じます。現在、マンションやお店などが新しく建設中のところも多く、まちがさらに大きくなっていくのを楽しみにしています。

美園人

みそのびと

編集後記

「変化する美園、進化する美園」というテーマでお届けした『美園人vol.09』、いかがでしたでしょうか。待望の新しいカフェや買い物施設ができ、わくわくすることがあった一方で、「美園小学校」の分校と「美園北小学校」の開校があり、歴史的にも特別な年となりました。

今後もさらに進化をつづける美園をぜひこれからもみなさんにお伝えしていけたらと思います。今後も『美園人』をよろしくお願ひいたします。
(編集部)

番外編!

『美園人』地域サポーター通信

地元に暮らしながら、『美園人』編集部の一員である「地域サポーター」。美園の魅力を伝え、美園を元気にする、まちの「インフルエンサー」ともいえます。今回は、メンバーの活動の様子をFacebook投稿のなかから一部ご紹介します。



地域サポーター
Satomi&Hikariさん

2019.06.09
「みその農園クラブ」の収穫日

サポーターSatomi&Hikariです。

本日は「みその農園クラブ」の活動日。なんと今日は、3月に苗を植えた野菜たちの収穫の日となりましたー◎

じゃがいも(きたあかり、メーケイン)、なす、きゅうり、ピーマン、しとう、いんげんを収穫しました。また芽かきをして、恵みの雨に備えます。



地域サポーター
宮崎 道雄さん

2019.07.05
【第1回】浦和美園の郷土探訪～岩槻南部新岩西地区編～

綾瀬川の東側に位置する「岩槻南部新岩西地区」で、昭和以前の歴史的な遺構を探してみました。岩槻区美園東3丁目にある「稻荷大明神」には明治39年建立の赤い鳥居が。さらにその先には、安政の時代に建立された「稻蒼魂(うかのみたま)神社」の石造の鳥居もありました。



そのほか、「馬頭観音立像」がある「地蔵堂」なども発見! 美園の新しい魅力を発見できました。

美園人（みそのびと） 第9号 2019年10月1日発行
企画・発行 みその出版@UDCMi 〒336-0962 埼玉県さいたま市緑区下野田494-1 オークリーフ1F TEL：048-812-0301



× みその出版

『美園人』はwebでもご覧いただけます。 <https://misonobito.jp/>

ここから、はじまる。「美しき園」、「美しき人」。『美園人』web版では、PCやスマホ・タブレットなどで、冊子で紹介しきれなかった取材のこぼれ話やオフショット、美園でこれから行われるイベント情報などをご覧いただくことができます。随時更新中です。最新の情報はこちらから。

